

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [国道橋りょう修繕事業 (国補)]	事業箇所	甲州市塩山千野	地区名	国道411号 (塩山千野工区)	事業主体	山梨県
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 一般国道411号は、東京都八王子市を起点とし甲州市勝沼町を経て甲府市に至る延長118kmの幹線道路である。 本事業区間は、第一次緊急輸送道路に指定されているが、沿道に電柱が立ち並んでおり、災害発生時に倒壊した場合、緊急車両等の通行の支障となる恐れがある。 このため、電線共同溝を整備することにより、災害時の通行確保や歩行者等の安全で快適な通行空間の確保を図るものである。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○都市災害防止 緊急輸送路の指定 有 (第一次緊急輸送路) 自動車交通量 1,546台/12h(H27セサ) < 3,428台/12h(平日) 以上※ 他事業との連携 有 ※評価基準値 □副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 歩行者・自転車交通量 30人台/12h(H27センサ) < 93人台/12h 以上※ 自動車交通量 1,546台/12h(H27センサ) > 3,428台/12h(平日) 以上※ 通学路の指定 指定あり (塩山北小学校) 現況の歩道幅員 3.0m > 1.4m未済※ ※評価基準値 □副次効果 ○ライフラインの強化 (電線、通信回線) ○緊急時の避難・救助機能の確保 (緊急輸送道路の整備) ○被災時の被害波及の防止 (緊急輸送道路)</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定が無いため不算出。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 第7期無電柱化推進計画に位置付けられた未整備区間を整備するため、現地の状況に即した事業規模である。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 低コストな電線共同溝方式を採用することで事業費が最も経済的な計画としている。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 電線類地中化による環境への負荷はない。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない 第7期無電柱化推進計画における事業箇所として、電線管理者と協議が行われており熟度が高い。</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク: b]</p>					
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 電線共同溝 L=900m (両側L=1,800m)</p> <p>②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和10年度</p> <p>④総事業費 約900百万円 (国費495百万円(5.5/10)、県費405百万円(4.5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和4~5年度 詳細設計 30 百万円 令和5~10年度 電線共同溝工事・連系・引き込み 870 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 ~H19 塩山バイパス バイパス整備 L=4,070m H20~R7 勝沼拡幅 道路拡幅 L=2,340m 電線共同溝 L=2,340m (両側L=4,680m) 事業費 約4,600百万円</p>		<p>(4) 事業位置図等</p>					

2. 添付資料シート

【平面図】



【写真①】 災害時に倒壊の恐れのある電柱



【写真②】 災害時に倒壊の恐れのある電柱



【標準横断面図】

